



第135回通常組合会を開催

令和6年度決算を承認

さる、7月26日（土）に第135回通常組合会を札幌ガーデンパレスにおいて開催した。今回の議案は、組合会議員の改選により、議長・副議長と役員選挙、令和6年度決算の承認および剰余金処分案の決定は原案どおり可決された。

なお、組合員の方には、決算の詳細について、本誌第1284号附録で公告（道医国保公示第493号）しているものを別途送付いたしますので、ご参照願います。

以下、第135回通常組合会の概要についてお知らせする。

組合会は午後3時30分開会され、議員定数57名中、資格確認時15名（最終出席者数16名）、他に表決委任状提出者39名の出席があり組合会は成立した。

最初に長瀬清理事長から挨拶が行われた。

長瀬理事長挨拶

『第135回通常組合会を開催するに当たりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

本日は、お忙しい中、全道各地からご出席いただきまして誠にありがとうございます。平素より、当組合の事業運営に格別のご支援並びにご協力をいただきまして、深く感謝を申し上げます。

先週の日曜日に投開票が行われました参議院議員選挙においては、昨年の衆議院議員選挙に続いて、政権与党が議席を大幅に減らすという結果になりましたが皆様ご存知のとおりです。俗に言われる「失われた30年」の間、デフレ経済を前提として医療費の伸びを高齢化の伸び率の範囲に抑制する、いわゆる社会保障予算の目安対応が続いてきましたので、医療機関の経営が昨今の諸物価の高騰に対応できない状況に陥っているのは皆様もご存知のとおりです。この年末の診療報酬改定に期待するところが大ですが、この選挙結果を受けて、どのような政権運営になるのかが、まだ見えませんので全く予断を許さない状況であります。私たちにとって、より良い方向に進むことを願ってやみません。

一方、医師国保組合を取り巻く状況に目を向けますと少子高齢化の進展と社会保険の適用拡大の影響を受けた被保険者数の減少、次々に承認になっている超高額薬剤の給付が発生することによる財政負担増への不安がある中で、財政制度等審議会の夏の建議におきましては、国保組合の運営の重要な基盤である定率国庫補助金の抜本的な見直しが行われましたので、財務省の影響に抵抗できるのかとの不安が生じているところであります。

このような厳しい状況を踏まえ47都道府県医師国保組合で設立しました全医連で、「医師国保組合の



長瀬理事長挨拶

将来についてのアンケート」を実施しましたが、結果は、規模の小さい組合を中心に半数以上の組合が他の組合との合併を望んでいるという将来への不安が浮き彫りになりました。しかしながら、保険料や構成員、保有している財産に大きな違いがございますので、お互いが納得できる条件での合併は、容易なものではありません。当組合は、組合員数が2,000人を割ってしまったとは言え47医師国保組合の中では、まだまだ上位の人数を維持できており、諸先輩がこれまでに築いてこられた財産も多くございます。そして令和6年度の事業につきましては、後ほどの議案説明の中で詳しく説明をさせていただきますが、組合員の皆様の負担を軽減すべく、保険料の一部の引き下げを実施した上で、8期連続での単年度黒字を続けることができていますので、財政面からは単独での運営に不安はございません。引き続き他の組合の動向等に注意を払い、組合員の皆様にとって、存在価値のある組合を維持すべく経営運営に努めていきたいと思っております。

本日の組合会は、ご案内のとおり令和6年度の収支決算のご承認と剰余金の処分に加えまして、議長・副議長と役員改選の議事がございます。先生方には、慎重にご審議をしていただき、ご承認を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

甚だ簡単ではございますが、組合会開催に当たってのご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。』

長瀬清理事長挨拶後、令和6年6月から令和7年5月までの1年間にご逝去された組合員の方々のご冥福を祈り黙祷が捧げられた。



三戸和昭常務理事から仮議長の選出について提案がなされ、仮議長には上村利彦議員（旭川市）が就任された。この後、上村利彦仮議長が議事録署名議員を次のとおり指名した。

道東ブロック 十 勝：堤 伸一郎 議員
中央ブロック 江 別：川口 聡 議員

議案第1号 組合会議長及び副議長の選挙について

三戸和昭常務理事から提案趣旨の説明が行われた後、上村利彦仮議長が選挙の方法について諮り、異議なく了承された。

当日欠席の3ブロック（日胆、北見、医育）を除く6ブロックから1名ずつ選考委員が選出され、選挙に入った。選考委員6名に仮議長を加えた選考委員会によって行われた。

選考委員会の結果について、上林叔人選考委員長（札幌市）から下記の2名を候補者として選考した旨の報告が行われた。

上村利彦仮議長が採否を諮ったところ、全員異議なく次の両名が当選者として決定した。

組合会議長 札幌市 神田 雄司 議員（新任）
同 副議長 函館市 久保田 達也 議員（新任）

議長、副議長就任挨拶後、神田雄司議長が議長席に着いた。

報告事項に入り、三戸和昭常務理事から、業務報告（令和7年4月～6月）について報告が行われ、報告どおり承認された。

ここで、議長は神田雄司議長から久保田達也副議長に交代し、議事が進行された。

議案第2号 令和6年度歳入歳出決算について

歳入総額	2,682,411,603円
歳出総額	1,699,258,578円
歳入・歳出差引残額	983,153,025円

田代典夫常務理事が詳細な説明をし、その後、当日欠席の組合監事に代わり事務局から「内部監査」、及び公認会計士により実施された「外部監査」の報告が行われた。

審議の結果、原案どおり承認可決された。

議案第3号 令和6年度歳計剰余金の処分について

歳入歳出差引剰余金	983,153,025円
準備積立金	0円
特別積立金	0円
別途積立金	80,000,000円

翌年度会計繰越金

903,153,025円

田代典夫常務理事が提案趣旨を説明し、上記の剰余金処分について原案どおり承認可決された。

議案第4号 理事及び監事の選挙について

三戸和昭常務理事から提案趣旨を説明し、久保田達也議長が選挙の方法について諮り、異議なく了承された。

選考は先の選考委員6名に議長・副議長を加えた選考委員会によって行われ、候補者の選考に入った。

選考委員会の結果について、上林叔人選考委員長から理事9名、監事2名を候補者として選考した旨、報告があり、久保田達也議長が採否を諮ったところ、全員異議なく次の11名が当選者と決定した。

《理事9名》

松家 治道（再任：札幌市）
三戸 和昭（再任：札幌市）
今 真人（再任：札幌市）
田代 典夫（再任：札幌市）
鈴木 伸和（新任：札幌市）
多米 淳（新任：札幌市）
菅田 忠夫（再任：小樽市）
鎌田 理（再任：岩見沢市）
滝山 義之（再任：旭川市）

《監事2名》

立石 圭太（新任：石狩）
外園 光一（再任：小樽市）

議事を暫時休憩として『新役員による協議会』が開催された後、久保田達也議長より互選により決定した理事長等が報告され（道医国保公示第492号の通り）、今回退任される長瀬清理事長、深澤雅則副理事長から退任の挨拶、当選した役員を代表し松家治道新理事長から就任の挨拶が行われた。

この後、久保田達也議長が、退任される長瀬清理事長に顧問を委嘱したいと理事者側から提案があり、緊急議決として審議する事に同意を求めた。異議なく了承されたため理事者側に提案を求めた。

緊急議決案 顧問の委嘱について

三戸和昭常務理事から提案趣旨の説明が行われ、審議の結果、全員異議なく理事者提案のとおり承認可決された。

以上で予定された議案がすべて終了し、閉会にあたり長瀬清理事長から閉会の挨拶がなされ、第135回通常組合会は午後5時7分閉会となった。

道医師国保組合公告

令和 7 年 9 月 1 日
道医国保公示第 489 号

北海道医師国民健康保険組合
理事長 松家 治道

北海道医師国民健康保険組合規約第 35 条により選挙された令和 7 年 7 月 1 日～令和 9 年 6 月 30 日までを任期とする
組合会議員を次のとおり公示する。

なお、寿都支部・三笠市支部には組合員がいないため、組合会議員定数には含まない。

第 34 期 組合会議員名簿
【任期 令和 7 年 7 月 1 日～令和 9 年 6 月 30 日】
(定数 57 名、欠員なし)

支 部 名	氏 名	支 部 名	氏 名
札幌市	羽田 健一	岩見沢市	大川 岩雄
〃	高岡 和夫	空知南部	板垣 里佳
〃	上林 淑人	夕張市	中條 俊博
〃	佐野 宏行	美唄市	井門 明
〃	三木 敏嗣	空知	大渡 隆一郎
〃	大嶋 哲夫	滝川市	本川 和義
〃	武井 崇	赤平市	佐々木 正人
〃	神田 雄司	芦別市	橋本 英明
〃	坂本 裕史	旭川市	上村 利彦
〃	中野 洋一郎	〃	坂田 葉子
〃	景山 正之	深川	高橋 公平
江別	川口 聡	富良野	内海 真
石狩	井上 幹朗	上川郡中央	藤原 正文
千歳	坂本 孝志	上川北部	荒川 卓哉
恵庭市	石川 順一	留萌	銭丸 達也
北広島	中川 晃	宗谷	伊坂 雅行
函館市	久保田 達也	北見	山川 康
〃	小葉松 洋子	紋別	小林 正司
渡島	渋谷 好孝	遠軽	瀧本 玲子
檜山	経田 剛	美幌	宮澤 学
北部檜山	富田 泰	網走	金川 有一
小樽市	松井 利憲	帯広市	稲葉 秀一
羊蹄	富田 均	十勝	堤 伸一郎
岩内古宇郡	北 慎一郎	釧路市	柴田 香織
余市	渡辺 裕喜雄	根室市外三郡	杉木 博幸
室蘭市	福永 純	北海道大学	鈴木 瞭太
胆振西部	岩本 秀一	札幌医科大学	吉田 瑞生
苫小牧市	加藤 茂治	旭川医科大学	大滝 有
日高	西川 武志	(敬称省略)	

道医師国保組合公告

令和 7 年 9 月 1 日
道医国保公示第 490 号

北海道医師国民健康保険組合
理事長 松家 治道

北海道医師国民健康保険組合の組合会議員に異動があったので、次のとおり公示する。

- ◎退任された議員 高岡 和夫（札幌市：令和 7 年 7 月 11 日 辞任）
三木 敏嗣（札幌市：令和 7 年 7 月 11 日 辞任）
武井 崇（札幌市：令和 7 年 7 月 11 日 辞任）
坂本 裕史（札幌市：令和 7 年 7 月 11 日 辞任）
◎就任された議員 上埜 博史（札幌市：令和 7 年 7 月 11 日 就任）
藤田 洋（札幌市：令和 7 年 7 月 11 日 就任）
夏井坂 光輝（札幌市：令和 7 年 7 月 11 日 就任）
長田 伸夫（札幌市：令和 7 年 7 月 11 日 就任）

（任期：上記の組合会議員は、就任された年月日から前任者の残任期間である令和 9 年 6 月 30 日までとする）

道医師国保組合公告

令和 7 年 9 月 1 日
道医国保公示第 491 号

北海道医師国民健康保険組合
理事長 松家 治道

選挙管理者

組合会議長 神 田 雄 司
組合会副議長 久保田 達 也

令和 7 年 7 月 26 日（土）開催の第 135 回通常組合会において、北海道医師国民健康保険組合選挙規程第 6 条の規定による役員選挙を行い、令和 7 年 8 月 1 日から令和 9 年 7 月 31 日までの 2 年間に任期とする役員が、次のとおり当選者と決定したのでこれを公示する。

〈組 合 役 員〉

理 事 松家 治道（再任） 三戸 和昭（再任） 今 眞人（再任） 田代 典夫（再任）
鈴木 伸和（新任） 多米 淳（新任） 菅田 忠夫（再任） 鎌田 理（再任）
滝山 義之（再任）
監 事 立石 圭太（新任） 外園 光一（再任）

道医師国保組合公告

令和 7 年 9 月 1 日
道医国保公示第 492 号

北海道医師国民健康保険組合
理事長 松家 治道

令和 7 年 7 月 26 日（土）開催の第 135 回通常組合会において役員選挙を行い、令和 7 年 8 月 1 日から 2 年間の任期とする役員が選出された。理事長、副理事長（各 1 名）、常務理事（2 名）の役員は新役員によって互選されることになっており、第 135 回通常組合会議事の暫時休憩中において『新役員による協議会』を開催し、本年 8 月 1 日からの理事長、副理事長、常務理事を互選したので、次のとおり公示する。

北海道医師国民健康保険組合新役員名簿

【任期：令和 7 年 8 月 1 日～令和 9 年 7 月 31 日】

（定数 理事 9 名・監事 2 名）

役 職	氏 名	摘要	役 職	氏 名	摘要
理 事 長	松家 治道	（新任）	副理事長	三戸 和昭	（新任）
常務理事	鈴木 伸和	（新任）	常務理事	田代 典夫	（再任）
	（コンプライアンス担当理事）			（会計担当理事）	
理 事	今 眞人	（再任）	理 事	滝山 義之	（再任）
理 事	菅田 忠夫	（再任）	理 事	鎌田 理	（再任）
理 事	多米 淳	（新任）			
監 事	外園 光一	（再任）	監 事	立石 圭太	（新任）

道医師国保組合のお知らせ

組合事務所臨時休業のお知らせ

令和 7 年 9 月 5 日（金）は、14 時より職員研修のため全職員が不在となりますことから、組合事務所を臨時休業とさせていただきます。大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

《臨時休業日時》 令和 7 年 9 月 5 日（金） 14：00～17：00

（参考）通常の業務時間：平日 9：00～12：00、13：00～17：00（土日祝日は休業）